



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

6月園だより

令和3年5月27日

May 27, 2021

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



目標に向かって

園長 河合 晴美

今年は、梅雨の入りが早いと言われていますが、園庭のアジサイも色づき、子どもたちが楽しむことを楽しみました。ユスラウメの収穫も昨年より早めに行うことができました。雨が上がり戸外に出ると、校庭にはアンズやサクランボ、ビワの実も見つけることができます。都会の中でも自然豊かな環境が、季節の移り変わりを知らせてくれます。

さて、子どもたちは、それぞれ自分のペースで遊びを進めています。遊びたいという意欲があり、使いたいものがあると、子どもたち同士の思いが当然重なります。3歳児では、同じものを使いたいという場面でものを取り合うこと、4歳児は、遊びたい所に入りたけれど入れない状況で困っている姿、そして、5歳児は、遊びのチーム作りがなかなかうまくいかないという状況が生じるなど、子どもたちなりに困難な場面に出会います。しかし、これらの場面は、決してマイナスなことではなく、子どもたち同士がどのように関わっていったらよいのかを知り、学んでいく経験となります。そのため、教師は互いに納得し、解決していけるように丁寧に根気よく接していきます。

先日行われた保幼小合同研修会では、南山小学校、麻布保育園とともに、5歳児の保育、低学年の授業を参観した後、協議が行われました。幼稚園から小学校以上の学校教育の中では、共通して「生きる力の基礎」となる3つの資質・能力を育てるという目標があります。幼稚園教育では、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする『知識及び技能の基礎』、気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする『思考力、判断力、表現力等の基礎』、心情・意欲・態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする『学びに向かう力、人間性等』という3つの資質・能力を育てていきます。

当日は、その方向性を共有し、それぞれの校種による指導内容を明らかにしました。とても有意義な協議会となりました。

話を先ほどの子どもたちの姿に戻しますと、このように3つの資質・能力が子どもたちの生活の中で育まれることは、子どもたちが経験している困難さを解決していく糸口になっていることが分かります。絡まった糸をほぐすように、それぞれの思いを知り、受け入れていく過程をつくることできっと笑顔が生まれます。子どもたちは、まだまだ成長していく道を歩み始めたばかりです。焦らずに、見守りながら導いていきたいと思っています。



<5歳児 研究保育の様子>